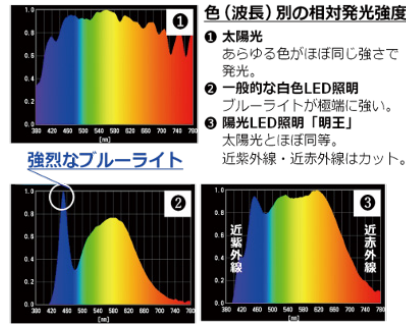


人々の健康を守る 次世代の 陽光LED

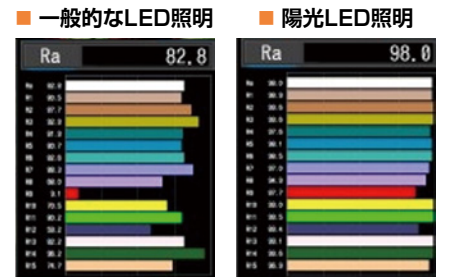


病気大国日本を救う
陽光LED『明王』

現在、日本の家庭やオフィスで普及している一般的なLED照明。その便利さの裏側で、過剰なブルーライトや演色性（健康を数値化した値でRa90以上が望ましい）の低い照明が日本人の健康を脅かしていることに、大学機関や新聞社などが警鐘を鳴らしています。現在の日本は多くの社会課題を抱えています。



演色性



された「省エネ法」と「温対法」があります。これらはいずれも使用電力やCO₂の削減を目的としたものであり、地球環境の保全という観点では重要な役割を果たしてきました。LEDは既存の照明に比べ省エネルギーなため、またたく間に世の中に普及しました。しかしその一方で、効率や数値目標が優先されるあまり、照明をLED化した人々からは目が痛い、眩しい、眠れない、イライラするなどの報告が相次いでおり、「人間の健康」という視点が十分に考慮されてこなかった側面が否定できません。2027年には水俣条約に



「明王」と森幸一さん

基づく国際的な決定により蛍光灯の製造・輸入が禁止され、さらなるLED化が進みます。こうした課題に対し、「省エネと健康のベストパートナー」を掲げる『株式会社グリーンユーティリティー』は、本来人間が必ずとする「太陽の光」を再現することに挑んできました。



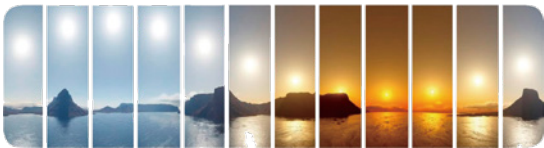
この挑戦の中心にあるのが、同社代表である森幸一さんです。産学共同を強みとし光の研究と開発を重ねてきた森さんは、大学や企業での講演をする一方、人工照明が人間の生体リズムに与える影響に早く着目し、単なる明るさではなく「人の健康に寄与する光」の実現を追求してきました。長年の研究の蓄積と技術革新の融合によって、ようやく現代のLED技術として結実したのが、この『明王(MYO-OU)陽光LED照明』です。

7つの国立大学と
共同開発された『明王』

同社が開発した『明王(MYO-OU)陽光LED照明』シリーズは、7つの国立大学の教授らが理事を務める「(一財)地球温暖化防止LSE技術アカデミア」との産学共同により、科学的エビ

デンスに基づいて誕生しました。一般的なLEDが特定の波長(ブルーライト)に偏っているのに対し、『明王』は太陽光とほぼ同等の波長エネルギーを持ちます。特筆すべきは、太陽の動きに合わせて一日に43回、色温度や明るさが変化する点です。これにより、人間の「サーカディアンリズム(体内時計)」が自然に整えられます。サーカディアンリズムは、日中に分泌される「セロトニン」と、夜間に分泌される「メラトニン」というホルモンのバランスによって制御されています。朝から昼にかけて適切な光を浴びることでセロトニンの分泌が促進され、精神の安定や集中力の向上につながります。また、夜間にはメラトニンの分泌がスムーズに行われることで、質の高い睡眠へと導かれます。また『明王』は、演色性がRa97以上と非常に高く、自然光に極めて近い光

を再現しています。特に、光が本来持つ15の要素のうち9つ目にあたる赤色光を、太陽と同レベルで含んでいる点が特長です。一般的なLEDでは不足しがちなこの赤色光は、ガンなどの重大な健康リスクへの影響が指摘されており、『明王』はそうしたLED由来の健康リスクから人々を守る次世代の健康照明です。



大阪・関西万博、 そして世界へ

『明王』はさらなる進化を遂げています。2025年には大阪・関西万博の「ヘルスケアパビリオン」への出展が決まり、その出展に合わせて開発されたのが、画期的な「1600K(ケルビン)型のシーリングライトです。

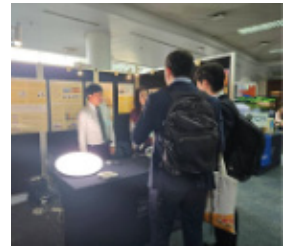
このライトは、ろうそくのようなくらい淡い光を放ち、家族や夫婦の絆を深める「絆ホルモン(オキシトシン)」の分泌を促す効果が期待されています。



大阪万博ヘルスケアパビリオンにて撮影。

光が導いたV字回復の軌跡

『グリーンユーティリティー』のサテライトとして、同社の光が惜しみなく活用されている「旬活和食ままや」では、連日多くの来店客で賑わいを見せています。



APFSD2026(バンコク)にて撮影。

さらに2026年、タイ(バンコク)で開催された国連アジア太平洋経済社会委員会が開催する国際会議「持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム(APFSD)2026」の展示にも選出されるなど、海外からも高い注目を集めています。

「ライトセラピー」で パーソナライズされた健康を

照明器具としてだけでなく、特定の波長を活用し健康を促進させる「セラピーライト」のラインナップも充実しています。

『明王』による太陽の動きに合わせた光は副交感神経に働きかけ、唾液の分泌を促すことで、料理をより美味しく感じさせます。実はこの店舗、約8年前に経営難に陥っていたところを同社が引き受ける形で再建されました。森さんは「光が変われば、人が変わり、社会が変わる」という信念を掲げ、その実践の場としてこの店舗を位置づけたといいます。実際に光環境を変えた結果、業績はV字回復を遂げ、離職率も大幅に低下しました。

この成果は単なる店舗再生にとどまらず、「光」が人の心身や行動、ひいては組織や社会にまで影響を与えることを示す実証例といえるでしょう。「旬活和食ままや」は、光の可能性を体現する場として、これからの時代における新たな価値創造のモデルとなっています。

■ UVB300型

日本人の約98%が不足しているといわれる「ビタミンD」の生成を促します。ビタミンDは、カルシウムの吸収を助けて骨や歯を丈夫に保つだけでなく、免疫機能の維持や感染症予防にも関与する重要な栄養素です。

さらに近年では不足すること骨粗しょう症だけでなく、心疾患やうつ症状など様々な健康リスクとの関連も指摘されています。

■ 赤色620型・670型

細胞のミトコンドリアを活性化させ、肌のエイジングケアや目髪健康維持をサポートします。

■ NIR850型・950型

近赤外線により脳内の血流を改善し、認知症予防や学習能力の向上などの効果や腹部や二重あごに対する脂肪分解効果がある。

ることが複数の大学での実験結果で確認されています。

セラピーライトは、光の力で人の健康や生活の質を高める新たなソリューションです。



赤色620型



UVB300型

利用者から届く喜びの声

実際に導入した家庭やオフィスからは、「朝の目覚めがスッキリした」「夫婦仲が良くなり家族愛が深まった」「従業員の集中力が高まり生産性が向上した」といった声が続々と寄せられています。

「日本創世」を活動の柱に据える『グリーンユーティリティー』。単なる明るさのための照明ではなく、心身の健康と生命力を取り戻すための「光」が、これからの日本の暮らしを変えていくでしょう。



GREEN UTILITY
株式会社 グリーンユーティリティー

TEL 052-746-9139

愛知県名古屋市中区千代田5-7-28

<https://greenutility.co.jp/>